



あゝ学舎よ夢多き



根室高校HP QRコード

【地歴公民・3年次】「北方領土啓発次世代ラボ」語り部事業

1月19日（金）、3年生地歴・公民の科目において、標記の事業が開催されました。内閣府北方対策本部の事業一つで、今年で2年目の実施となりました。活動のメンバーは北海道から長崎、高校生から大学院生までの若者世代16名（本校3年生、卒業生もいます）。今年度の活動は「語り部事業」「すごろくゲーム制作」となっており、本校では語り部事業が行われました。次の①～④の北方領土に係る説明がありました。

①北方領土の大きさについて、クイズ形式で示され、千葉県と同じ面積であること、択捉島（3139km²）と国後島（1489km²）合わせた面積は、沖縄県（1191km²）よりも大きいこと。②北方領土問題の歴史について、北方領土問題は



日本の領土でありながら、ロシアに不法占拠されている北方領土の問題であること。北方四島は、江戸時代から日本が開拓してきた土地であり、1789年には江戸幕府の役人が「大日本恵登呂府」の標柱を設置。その後、日魯通好条約、樺太千島交換条約、ポーツマス条約が締結されるが北方四島は日本の領土。しかし、1945年8月9日、第二次世界大戦終結直前にソ連が「日ソ中立条約」を破って対日参戦後、北方四島を占領し、当時の島民約17000人が北方四島から強制的に退去させられた。その後、サンフランシスコ平和条約、日ソ共同宣言では、平和条約締結交渉の継続、ソ連は締結後に色丹島と歯舞群島を日本に変換することを約束したが、平和条約は未だに締結されていない。その後、東京宣言、イルクーツク声明、日露首脳会談と交渉が続いている。この問題は島民やその子孫の問題ではなく、私たちに関わる重要な問題。③返還要求活動について、1945年当時の根室町長安藤石典がGHQのマッカーサー元帥に「北方領土返還を求める陳情書」を提出。1965年署名活動開始、1977年シンボルマークの制定、1981年北方領土の日（2月7日）を制定。近年の返還要求の活動では、北方領土返還要求全国大会、雪まつりなどイベントでの署名活動。④元島民の方との交流として、ZOOMで本校とつなぎ当時の話を聞きました。今思うと、歯舞群島、勇留島は子どもの頃と遠くに感じたが大人になると近い島であること、昆布、カニ、サケマスなど多くの水産物がおいしく食べられたなどの話をさせていただきました。



【3年生・表彰】令和5年度学び推進月間標語…R5根室教育局奨励賞



3年生 松澤 昂典 さんが標記のコンクールにおいて、令和5年度根室教育教育局奨励賞を受賞しました。1月17日（水）、根室教育局 日向教育局長から松澤さんに賞状が手渡されました。受賞作品を紹介します。

「学びの木 努力が咲かせる 夢の華」

どのような思いで標語を作成したか日向教育局長から質問がありました。松澤さんからは、夢を叶えるには努力が必要であり、身近な「木」を題材として、種を植え水を与えることで木は育ちいずれ花を咲かせる。この標語は自己の学びを踏まえつつのこと。日向教育局長からは、思いが込められたよい標語との評価をいただき、今後、教育局でも掲示しますとのことのお話も併せていただきました。

【探究活動・2年次】 令和5年度探究チャレンジ釧路・根室での発表

1月18日（木）、標記の発表会が行われました。この事業は道内の高校生が取り組んだ探究活動の成果を発表・交流する機会として令和4年度から実施。問題発見・解決能力などの力を育成するとともに、生涯にわたって能動的に学び続ける資質・能力の育成を目的とするものです。今回の釧路・根室地区の高校の発表会において、優秀な発表は全道大会への出場権が与えられます。



本校からは2年次全体で取り組んでいる「ジブンノミライ」についての発表を行いました。

【1/17校長講話】 冬季休業明け集会での講話 …「克己復礼」の実践

1月1日、石川県能登地方を震源とするマグニチュード7.6、最大震度7の能登半島地震により、多くの方々の命が奪われました。亡くなられた方々のご冥福をお祈りするとともに、行き届いた支援や各地域の復興がいち早くなされることを願っています。

さて、このような自然災害など予期しないことが起こりうる時代です。そのような社会の中で、皆さんが、よりよく生き抜くためには、今、この時期（高校生年代）、何をしなければならないのでしょうか。中国思想家孔子の教えに「論語」があります。その論語の一説で、「克己復礼（こっき ふくれい）」に触れ、「己（おのれ）に、克（か）ちて、礼（れい）に、復（ふく）する」とある。「克己（こっき）」とは、己（おのれ）に勝つこと、自分の欲望に打ち勝つこと、「復礼（ふくれい）」とは、社会秩序を維持するための制度やおきてにより従うこと、との意味です。孔子は弟子達に、一人一人が「克己復礼」を実践すれば、思いやりに満ちた社会が形成されるといっています。

皆さんには、「克己復礼」を実践して欲しい。高校生活、高校という枠組み（ルール）の中で、「自己の甘えを捨て、自分自身に勝つ」ことで、成長することを期待したい。新たな年を迎え、皆さんには、こんな力を身に付けてほしい。

- 1 自己管理能力** 自分のスケジュールや課題の管理、時間の使い方など、自己管理能力を向上させる機会が沢山あります。体調管理も含め、効率的な時間管理、優先順位など計画的に取り組んでほしい。
- 2 対人関係の発展** 授業、クラス、部活動など多くの人との交流により、対人関係を築くためのコミュニケーション能力や協調性などを養うことができる。他の意見を尊重しながら、円滑な対人関係を築いたりする経験が必要です。
- 3 自己表現の向上** 授業や学校行事において、自己表現の機会がある。多くの活動や学びの後に、活動を振り返り、学んだことをまとめ表現をする。このことで、活動前後の自己の変容、自身の才能、興味・関心を見つけることができる。

学校生活の中で、勉強、進路、部活動、友人関係など様々なことに悩み、困難に直面することもあるが、多くの困難に立ち向かうことで、解決するための問題解決能力やストレスその対処スキルを身に付けることができる。以上3つのことを意識し、新たな年（辰年）は、活力旺盛になり成長していく年とも言われています。

皆さんが成長するきっかけになる年になって欲しいと思います。